



上品な佇まいに
ジョグダイヤルと3ボタン
選べる2つのスタイル

セナの次世代フラッグシップとなる50Sと50R。いずれも高級感溢れるシルバーとブラックの2トーンが印象的なデザインとなっている。50Sはセナ・インターコムが伝統的に受け継ぐ、「ジョグダイヤル」スタイルを極めたデザインを採用。そして今回は新たに、「3ボタン」スタイルの50Rがラインナップされている。機能や性能は50Sそのままに、スリムでシンプルなヘルメットへの装着方法を採用。スポーツタイプのヘルメットでスマートに使えるモデルだ



50S/Rのココがスゴイ!

2つの新モードが使える セナ・メッシュ2.0

50S/Rシリーズで新たに搭載された「セナ・メッシュ2.0」。30Kが採用したセナ・メッシュのアルゴリズムとルーティングを見直し、通信の安定性を高めたほか、音声の明瞭度も向上させている。また、従来の「公開モード」と「プライベートモード」をそれぞれ、「オープンメッシュ」「グループメッシュ」とし、オープンメッシュには9つのチャンネルを切り替えて使えるようにした。Bluetoothも搭載しており、セナ製品だけでなく他社のBluetooth・インターコムとも接続可能



Open Mesh Intercom™

Open Mesh Intercom

周辺のセナ・メッシュ2.0を使うインターコムと自動的に接続。同じチャンネルに合わせて会話する。参加人数は無制限



Group Mesh Intercom™

Group Mesh Intercom

グループを作成し、仲間を招待する形で参加者を追加していく。招待はメンバーなら誰でもOK。最大通話人数は24人



Bluetooth Intercom

Bluetooth Intercom

50S/Rや30K以外のセナ・インターコム製品や、他社製品と接続も可能。最大通話4人でのグループ通話もできる



選べるマイクのスタイル ブームタイプとケーブルタイプ

50Sはセナ・インターコム伝統のクランプに付いたマイクのほか、外付けブームマイクとケーブルマイクを同梱。50Rは外付けブームマイクとケーブルマイク、さらにはスピーカーのすべてを、直接本体に接続するスタイルを採用している

50S/Rを自由自在に使いこなす スマホアプリ「50 Utility」

50S/Rの登場に合わせてスマホアプリ「50 Utility」も用意。オーディオコライダー機能をはじめ、視覚的に設定操作ができるだけでなく、オープンメッシュのチャンネル切り替えやグループ作成など、メッシュを自由自在に使いこなせる



充電するだけでファームウェアの アップデートがWi-Fiで可能

セナ製品はファームウェアのアップデートで、購入後も常に機能が進化する。従来は本体とPCを接続して更新作業を行っていたが、50S/Rでは専用Wi-Fi充電ケーブルを使うことで、充電しておくだけで自動的にファームウェアの更新が可能



音質とフィットリング性が アップしたHDスピーカー

50S/Rではイヤースピーカーを刷新。従来のものより薄く、さらに周囲の縁をテーパー形状にしたことで、フィットリングしやすくなった。また、スピーカーの設計を見直して、豊かな低音をはじめとして、音質を約60%向上させている

「チャンネル」を使えば、グループ通話がシンプルに
常に独創的なインターコムをリリースしてきた、グローバルブランド「セナ」。2020年夏、そんなセナから、次世代のインターコムが登場する。それが「50S」と「50R」の2台だ。
セナでは2017年に「セナ・メッシュ・インターコム」というまったく新しい通信技術を採用した「30K」を日本市場に投入した。このメッシュは、従来のBluetooth・インターコムが抱えていた、煩わしいペアリングや途中で接続が切れるといった課題を解決する、画期的な通信技術だ。
50S/Rでは、そんなメッシュ通信技術が次世代の「メッシュ2.0」に進化。通信技術そのものを見直し、さらに安定したインターコム通信を実現している。その成果は、通信距離やクリアな音声として体感できることだろう。
また、メッシュ2.0では新たに「チャンネル」機能を追加。30Kの公開モードでは、周囲のセナ・メッシュ・インターコムと区別なくつながっていたが、メッシュ2.0では、9つあるチャンネルを切り替えることで、同じチャンネルのユーザーとだけ、つながるようになった。もちろん、最大通話人数が24人に増えたグループメッシュ（旧パブリックモード）もあるが、チャンネルを切り替えるだけで、より素早く仲間と会話することができるようになる。
さらに50S/Rでは、ファームウェアのアップデートも、次世代とも言うべきスタイルに進化。セナのインターコムはファームウェアのアップデートで、機能や性能を進化させることができるが、なんと専用の「Wi-Fiアダプター」ケーブルで充電を行うと、自動的にアップデートしてくれるという、画期的な機能となっている。もちろん、50S/Rは音質といった基本的な部分でも進化している。スピーカーを刷新し、より薄くスピーク効率に優れた形状に見直し、さらに、低音を中心とした音質がアップ。スマホに入っている音楽やFMラジオ、ナビの音声案内を聴くための「バイクのオーディオ」としても、ブラッシュアップされている。
このように、次世代に進化したフラッグシップ。今までセナのこのクラスにはなかった、3ボタンの50Rも加わり、自分の使い方に応じてスタイルを選べるようになった。そんなすべてにおいて新しく、そしてあらゆる面でグレードアップしている50S/Rの登場が待ち遠しい限りだ。

インターコムのセナが打ち出す
次世代のコミュニケーション

SENA 50S/R

衝撃のデビュー

写真/増川浩一 文/八百山ゆいすけ
問:セナBluetoothージャパン
https://senablueooth.jp

今夏、セナから次世代のフラッグシップ「50S」と「50R」が登場する
セナ・メッシュ・インターコムが、「メッシュ2.0」へと進化
革新的なWi-Fiアップデート機能から、音質のグレードアップまで
シルバー&ブラックのボディには、インターコムの「次」が詰まっている!

発売日
8月中旬
予定

50R

価格:未定

Specifications

メインモジュール:
97×48×27mm
スピーカー:直径40mm×厚み7.2mm
ブームマイク:長さ150.0mm



発売日
8月中旬
予定

50S

価格:未定

Specifications

メインモジュール:102×56×27mm
スピーカー:直径40mm×厚み7.2mm
ブームマイク:長さ190.0mm

「チャンネル」を使えば、グループ通話がシンプルに

常に独創的なインターコムをリリースしてきた、グローバルブランド「セナ」。2020年夏、そんなセナから、次世代のインターコムが登場する。それが「50S」と「50R」の2台だ。
セナでは2017年に「セナ・メッシュ・インターコム」というまったく新しい通信技術を採用した「30K」を日本市場に投入した。このメッシュは、従来のBluetooth・インターコムが抱えていた、煩わしいペアリングや途中で接続が切れるといった課題を解決する、画期的な通信技術だ。
50S/Rでは、そんなメッシュ通信技術が次世代の「メッシュ2.0」に進化。通信技術そのものを見直し、さらに安定したインターコム通信を実現している。その成果は、通信距離やクリアな音声として体感できることだろう。
また、メッシュ2.0では新たに「チャンネル」機能を追加。30Kの公開モードでは、周囲のセナ・メッシュ・インターコムと区別なくつながっていたが、メッシュ2.0では、9つあるチャンネルを切り替えることで、同じチャンネルのユーザーとだけ、つながるようになった。もちろん、最大通話人数が24人に増えたグループメッシュ（旧パブリックモード）もあるが、チャンネルを切り替えるだけで、より素早く仲間と会話することができるようになる。
さらに50S/Rでは、ファームウェアのアップデートも、次世代とも言うべきスタイルに進化。セナのインターコムはファームウェアのアップデートで、機能や性能を進化させることができるが、なんと専用の「Wi-Fiアダプター」ケーブルで充電を行うと、自動的にアップデートしてくれるという、画期的な機能となっている。もちろん、50S/Rは音質といった基本的な部分でも進化している。スピーカーを刷新し、より薄くスピーク効率に優れた形状に見直し、さらに、低音を中心とした音質がアップ。スマホに入っている音楽やFMラジオ、ナビの音声案内を聴くための「バイクのオーディオ」としても、ブラッシュアップされている。
このように、次世代に進化したフラッグシップ。今までセナのこのクラスにはなかった、3ボタンの50Rも加わり、自分の使い方に応じてスタイルを選べるようになった。そんなすべてにおいて新しく、そしてあらゆる面でグレードアップしている50S/Rの登場が待ち遠しい限りだ。